

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度 (Academic year)	令和5年度 (2023年度)
開講学科 (Department)	国際学科国際バカロレアコース / IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科 (Subject Area)	言語B
科目 (Subject)	Japanese B SL
学年・クラス (Grade・Class)	2年 (DP1)
単位数 (Number of units)	4
使用教科書 (Text Books)	『中級日本語カルテット』 (The Japan Times) 『クローズアップ日本事情』 (The Japan Times)
校外学習 (Field trip)	なし

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

<p>【知識及び技能】 (Knowledge and Skills) 日本語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、日本語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity) 日本語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面や目的に応じて言語を選択し、明確かつ効果的にコミュニケーションを図ることができる。 様々な場面や文化的文脈、聞き手／読み手に応じて適切に言語を理解し、使い分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理しながら日本語で自分の考えを流暢かつ正確に表現し、応答することができる。 様々な話題についてテキストを批判的に読み、自分の考えを認識・構成・提示できる。 	<ul style="list-style-type: none"> テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。 他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。 言語の探究を通して、学習へと向かうための力 (ATLスキル) を確実に身につける。 好奇心や創造性、生涯にわたって言語を学ぶ楽しさを涵養する。

○ 授業計画 (Course schedule)

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知 思 態			配当 時数
			話・聞	書	読		①	②	③	
1学期 (1st semester)	＊オリエンテーション Unit1 「アイデンティティー」 【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。コミュニケーションをとる相手 (読み手) に適切な言語使用をする必要があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アイデンティティーの形成にかかわる言語、文化、地域制等の役割について思考を深め、自分の考えを文章や口頭で伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。	ATL、本コースの流れ、5つの探究テーマ、言語Bにおける「概念」、評価について説明する。 ・言語とアイデンティティー 「言語と文化はどの程度私たちのアイデンティティーの形成に影響を及ぼしているだろうか」 ・心身の健康と幸福 「健康的な生活とはどのような概念で、どのようなライフスタイルのイメージに関連づけられるだろうか」 テキストタイプ 学校新聞記事、ブログ	○	○	○	①【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・作文、口頭発表において適切で多様な語彙・文法を使用している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つけれられる。 ②【思考・判断・表現】 ・課題作文、口頭発表において適切なテキストタイプを用いて効果的に考えを提示している。 ・タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・話し合いや発表に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。	○	○	○	30
	Unit 2 「経験」 【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。コミュニケーションをとる相手 (読み手)、状況に応じて適切な言語使用をする必要があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 テキスト学習やインタビュー、リサーチしたことをもとに、過去と現在・未来とのつながりについて認識を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。	・レジャー (旅行、スポーツ) 「旅は私たちの視野をどのように広げるだろうか」 ・人生の大切な記念日 「世界の異なる文化ではどのように人生の大切な日を記念し、祝うのだろうか」 テキストタイプ パンフレット、インタビュー リスニング練習	○	○	○	①【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・作文、口頭発表において適切で多様な語彙・文法を使用している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つけれられる。 ②【思考・判断・表現】 ・課題作文、口頭発表において適切なテキストタイプを用いて効果的に考えを提示している。 ・タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・話し合いや発表に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。	○	○	○	30

Allotted hours

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読		①	②	③	
2学期 (2nd semester)	Unit 3 「人間の知恵」 【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。他の学問分野と関連した言語の重要性の意識を高める。コミュニケーションにおいて、その意図、目標を達成するための適切な言語の使い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な芸術表現への理解を深め、創造的思考力育成の機会を与える。 【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。	・テクノロジー 「技術革新やテクノロジーは私たちの生活にどのような影響を及ぼしているだろうか」 ・芸術表現（伝統工芸、近代アート） 「芸術は私たちが世界を理解するうえでどのような手助けになっているだろうか。また芸術表現から、その文化についてどのようなことが学べるだろうか」 テキストタイプ 批評文、メール リスニング練習	○	○	○	①【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・作文、口頭発表において適切で多様な語彙・文法を使用している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つげられる。 ②【思考・判断・表現】 ・課題作文、口頭発表において適切なテキストタイプを用いて効果的に考えを提示している。 ・タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・話し合いや発表に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。	○	○	○	34
	Unit 4 「社会の一員として」 【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。意図することを伝えるために言語は様々な使い方をすることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の中で言語の役割を認識する。 【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。	・教育 「私たち一人ひとりの社会における役割とは何か」 ・働くということ（21世紀の仕事） 「21世紀の職場では、私たちはどのようなチャンスと課題に遭遇しているだろうか」 テキストタイプ 新聞投書、スピーチ リスニング練習	○	○	○	①【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・作文、口頭発表において適切で多様な語彙・文法を使用している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つげられる。 ②【思考・判断・表現】 ・課題作文、口頭発表において適切なテキストタイプを用いて効果的に考えを提示している。 ・タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・話し合いや発表に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。	○	○	○	30
3学期 (3rd semester)	Unit 5 「かけがえのない地球」 【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。地球規模の課題に対する私たちの役割と責任を認識する。日本語の中にも違い（バリエーション）があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題について複数の資料から得た情報を整理し、自分の考えをまとめて適切に表現したり、伝えあったりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。	・環境問題 「どのような環境問題・社会問題が世界に課題を残すだろうか。そして、これらの問題はどのように解決できるだろうか」 ・都市と地方 「都市・郊外地域の変化はどのような課題と利益をもたらすのだろうか」 テキストタイプ 意見文、スピーチ リスニング練習	○	○	○	①【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・作文、口頭発表において適切で多様な語彙・文法を使用している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つげられる。 ②【思考・判断・表現】 ・課題作文、口頭発表において適切なテキストタイプを用いて効果的に考えを提示している。 ・タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。 ③【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・話し合いや発表に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。	○	○	○	32

総授業時数 Total hours	156
----------------------	-----